

第48期 中間報告書

2018年3月1日 ▶▶ 2018年8月31日



 株式会社ジーフット

証券コード：2686



■ 経営理念

足元からのスタイル提案業

健康的で履きやすい魅力的な靴をリーズナブルに提供すること。

私たちジーフットは、その経営理念に「足元からのスタイル提案業」というスローガンを掲げながら、フットウェアのリーディングカンパニーとしてこれからの時代を先取りするグローバルな展開をスタッフ全員で目指していきます。

■ 財務ハイライト

	2016/2 (第2四半期)	2016/2 (期末)	2017/2 (第2四半期)	2017/2 (期末)	2018/2 (第2四半期)	2018/2 (期末)	2019/2 (第2四半期)
売上高 (単位:百万円)	53,777	103,933	54,405	102,224	51,339	97,282	51,168
営業利益 (単位:百万円)	3,196	5,515	3,334	5,005	1,487	2,238	1,261
経常利益 (単位:百万円)	3,192	5,473	3,349	5,027	1,499	2,279	1,270
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (単位:百万円)	1,678	2,814	1,837	2,680	630	751	162
1株当たり 四半期(当期)純利益 (単位:円)	40.28	67.17	43.22	63.03	14.82	17.67	3.81
1株当たり 純資産額(BPS) (単位:円)	542.81	565.76	593.52	607.29	613.74	608.72	593.25
総資産 (単位:百万円)	55,670	58,246	60,295	58,509	60,464	60,463	59,943
純資産 (単位:百万円)	22,611	24,056	25,257	25,843	26,127	25,913	25,254

※当中間期より連結決算に移行しており、2018/2期以前は単体ベースの数値であります。



※当中間期より連結決算に移行しており、2018/2期以前は単体ベースの数値であります。



株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2018年3月1日～2018年8月31日）における我が国の経済は、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら物販業界における個人消費については、コト消費の躍進やEコマースの続伸、CtoC（個人間取引）ビジネスの台頭などの消費形態の変化や、根強い節約志向の継続などの影響もあり、実感を伴った景気回復に向けては先行き不透明な状況が続いています。

このような環境に対応すべく当社グループは、本年度を新たな成長に向けた事業構造の改革元年と位置付け、具体的には「商品の改革」として、MD（マーチャンダイジング）プロセスの改革による商品提案力の強化、価値

ある商品開発によるPB（プライベートブランド）戦略の推進および婦人靴・紳士靴のリバイバルプランを実行いたしました。また、「売場の改革」として、基幹フォーマットの改革およびオムニチャネル化の深耕に伴うEコマース事業の構造改革を推進いたしました。

とりわけ最重点施策である「商品の改革」については、ボトルネックである過剰在庫の計画的な削減、仕入れの適正化とともに、MDプロセスの改革によりオフィスサポート等の定番商品の売場改革、ウエルネスライトインソールの拡大、ライト&リラックス等のトレンドに対応した商品開発をいたしました。

上記の取組みにより、既存店売上の回復やPB売上構成比の向上など一定の成果は見られたものの、スポーツ靴・子供靴の二極化消費への対応不足や専門店業態（アスビー、フェミニンカフェ）の不振により客数が減少し、売上減少トレンドに歯止めをかけることができませんでした。

出退店につきましては、アスビーイオンモールいわき小名浜店など17店舗を出店するとともに、一方で不採算店舗を中心に11店舗を退店し、これらにより当第2四半期末における当社グループの店舗数は938店舗（国内902店舗、中国36店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高511億68百万円、営業利益12億61百万円、経常利益12億70百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は業績低迷を主要因とした減損損失や西日本豪雨による災害損失など特別損失を8億96百万円計上しており、1億62百万円となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



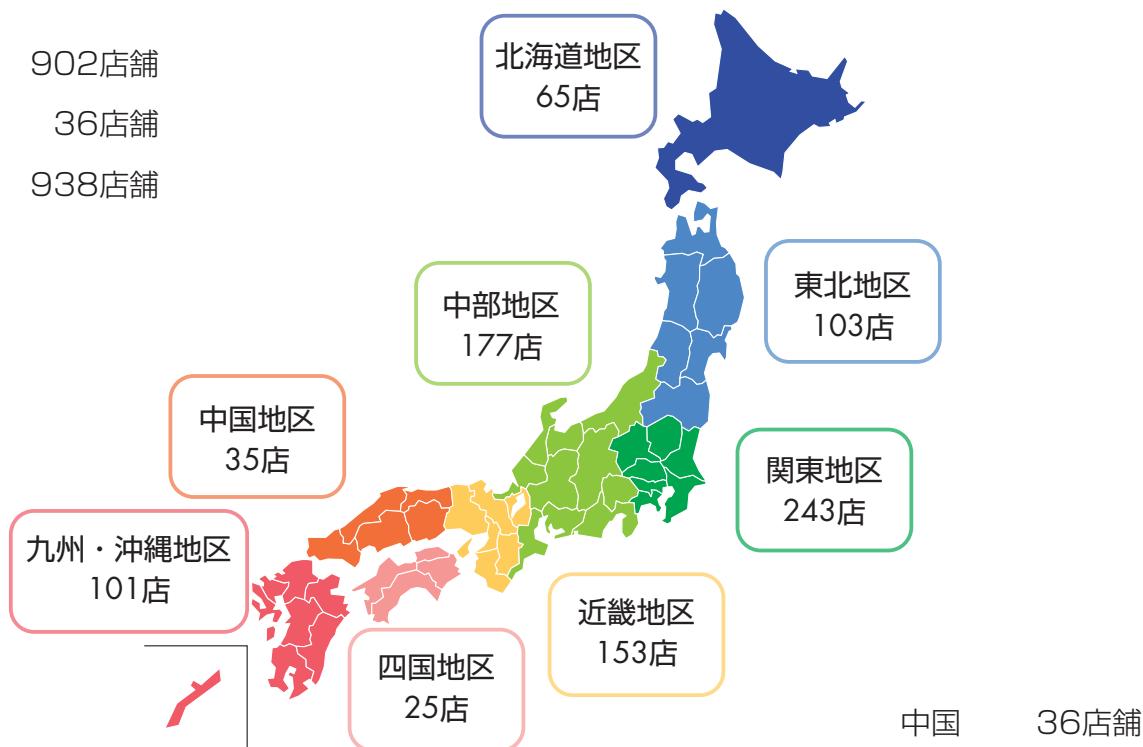
1株当たり純資産額(BPS)



※当中間期より連結決算に移行しており、2018/2期以前は単体ベースの数値であります。

■店舗一覧

国内 902店舗
海外 36店舗
合計 938店舗



■業態紹介



ASBEE

オリジナルブランドのリーやマッドフードから人気ブランドの最新モデルまで、ファッションとライフスタイルを提案するフットウエアのスペシャリティショップです。



Shoes
Greenbox

デイリーユースを意識した低価格商品から高品質なシューズまでを豊富にラインナップ。お客さまの暮らしをバックアップする地域密着型のフットウエアショップです。



Feminine Café

“スイート&キュート”をテーマにしたオリジナルシューズとの出会いを楽しむことができるカフェイストのレディースシューズショップです。

■PB商品紹介



Keds

コンセプトは「アメリカンクラシックカジュアルスニーカー」。1916年ブランド設立からカジュアルスタイルにコーディネートできるスニーカーを提案し続ける老舗ブランドです。



Lee

1911年にアメリカで始まったLee。ファッションデニムの代表ブランドとして日本に根付いたLeeは、きれいなカジュアルスタイルにマッチするブランドとして、幅広い層から支持を集めています。

■ウエルネスライト (機能インソール)



心地いい靴、
選びやすくなりました。

Wellness Light

「履き心地を重視して靴を選びたい」
という、お客様の声にお応えして
株式会社ジーフトは快適さの基準をクリアした
インソールに認定マークを導入しました。

しっかりアシスト
履き心地が快適な履き心地が
快適な履き心地が快適な履き心地
快適な履き心地が快適な履き心地

やさしくフィット
履き心地が快適な履き心地が
履き心地が快適な履き心地が
履き心地が快適な履き心地が

ダブルサポート
履き心地が快適な履き心地が
履き心地が快適な履き心地が
履き心地が快適な履き心地が

心地いい靴、選びやすくなりました。「履き心地を重視して靴を選びたい」という、お客様の声にお応えして、快適さの基準をクリアしたインソールに認定マークを導入しました。

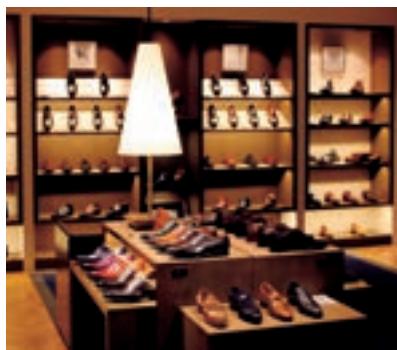
■業態紹介



SKECHERS

スケッチャーズのコンセプトストアとしてカジュアルシューズから本格的なスポーツパフォーマンスシューズまで、スケッチャーズの新しいデザインと機能を体感していただけるショップです。

■子会社紹介



株式会社プレステージシューズ
(国内子会社)



新脚步 (北京) 商贸有限公司
(海外子会社)

■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第48期 2018年8月31日現在
資産の部	
流動資産	45,687
固定資産	14,256
有形固定資産	4,296
無形固定資産	321
投資その他の資産	9,638
資産合計	59,943
負債の部	
流動負債	31,556
固定負債	3,132
負債合計	34,688
純資産の部	
株主資本	24,413
資本金	3,755
資本剰余金	3,586
利益剰余金	17,075
自己株式	△ 4
その他の包括利益累計額	824
新株予約権	16
純資産合計	25,254
負債純資産合計	59,943

■ 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第48期 2018年3月1日から 2018年8月31日まで
売上高	51,168
売上原価	27,287
売上総利益	23,880
販売費及び一般管理費	22,618
営業利益	1,261
営業外収益	33
営業外費用	25
経常利益	1,270
特別利益	49
特別損失	896
税金等調整前四半期純利益	423
法人税等	261
四半期純利益	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	162

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第48期 2018年3月1日から 2018年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 716
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 50
現金及び現金同等物の期首残高	1,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,687

■ 会社概要

商号 株式会社ジーフット
 (英訳名 GFOOT CO.,LTD.)
設立 1971年10月
資本金 37億55百万円
従業員数 1,488名 (他、フレックス社員6,471名)
本社 東京都中央区新川一丁目23番5号
事業内容 紳士靴、婦人靴、スポーツ靴及びインポート雑貨の販売
店舗数 938店舗

■ 役員

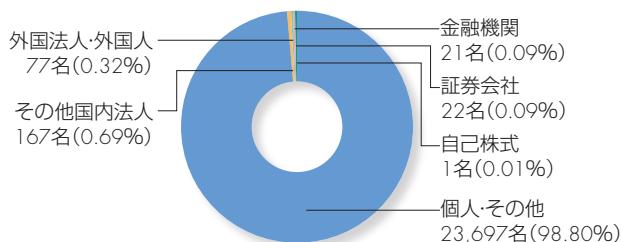
代表取締役社長	堀	江	泰	文
常務取締役	三	津	井	洋
取締役	丹	下	浩	二
取締役	小	坪	博	史
取締役	守	一	善	樹
取締役	高	田	覚	司
取締役	木	村	正	光
取締役	七	尾	宣	靖
取締役 (社外)	柴	田	昭	久
取締役 (社外)	荒	川	正	子
常勤監査役 (社外)	布	施	弘	二
監査役 (社外)	下	山		宏
監査役 (社外)	竹	越		亮
監査役 (社外)	越	山	滋	雄

■ 株式の状況

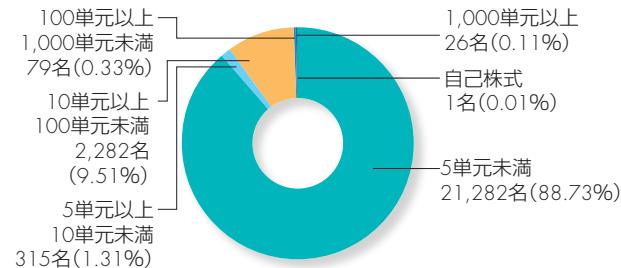
- (1) 発行可能株式総数 144,000,000 株
- (2) 発行済株式の総数 42,554,100 株
- (3) 単元株式数 100 株
- (4) 株主数 23,985 名
- (5) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン株式会社	25,825	60.68
有限会社高田	900	2.11
イオンフィナンシャルサービス株式会社	670	1.57

● 所有者別株主数



● 所有単元別株主数





■株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	
定時株主総会	毎年5月	
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当金 中間配当金	2月末日 2月末日 8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
各種お問合せ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 フリーダイヤル 0120-782-031 (代表)	
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 (アドレス) http://www.g-foot.co.jp/koukoku.html	
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部及び 名古屋証券取引所市場第一部	
単元株式数	100株	

株主優待制度のお知らせ

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に登録された100株以上所有の株主さまに対し株主優待券を贈呈。

所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	株主優待券1,000円 (1,000円券1枚)
1,000株以上 2,000株未満	株主優待券5,000円 (1,000円券5枚)
2,000株以上	株主優待券10,000円 (1,000円券10枚)



ホームページも
ご覧下さい。



<http://www.g-foot.co.jp/>



本社 東京都中央区新川一丁目23番5号

